

【 1 】 次の文を読んで下の問いに答えよ。(資料活用・知識理解 2点×10 計20点)

各地の歴史博物館や歴史資料館には遺跡や建築などの様々な復元模型が展示されている。千葉県佐倉市にあるA国立歴史民俗博物館に展示されている中世のB東国武士の居館の復元模型(下の図)をみてみよう。C母屋を中心いくつかの建物を備え、D柵や塀や土塁を周囲にもきずき、周りには濠をめぐらしている。

鎌倉時代の武士は平時には農業経営者としての側面を持ち、居館のE周囲に広がる直営地を[G]といった隷属民に耕作させていた。水をたたえた濠には、防御とともに農業用水としての役割もあった。こうした模型をみることによって、教室や教科書で学んだことがら、具体的なイメージとなって広がってくる。あたらしい発見もあるかもしれない。

では、模型はどのようにしてつくられるのだろうか。この模型の場合には、『[H]』などの絵巻物や[I]が大きな役割をはたしている。他の模型の場合でも、絵画や遺跡発掘の成果、また現存する類似の建築物などがその制作のもとになっていることが多い。復元模型を見学したら、今度は、もとになった遺跡やJ□□□を自分で調べてみよう。今までとは違った歴史がみえてくるだろう。



問1 下線部Aに当てはまらないものを選び、記号で答えよ。

- ア. 黒曜石 イ. サングの生熊 ウ. 火縄銃 エ. 白黒テレビ

問2 下線部Bについて適切な文を選び、記号で答えよ。

- ア. 後三年の合戦の後、平家を棟梁と仰ぐ武士団が多数となった。
 イ. 治承・寿永の乱以後、平氏の家人となっていたものもいた。
 ウ. 承久の乱の後、西面の武士となる御家人が多数いた。
 エ. 霜月騒動の後、北条得宗家に反感をもつ御家人が多くなった。

問3 下線部Cにあたるものを図中から選び、記号で答えよ。

問4 下線部Dにあたるものを図中から選び、記号で答えよ。

問5 下線部Eにあたるものを図中から選び、記号で答えよ。

問6 [G]にあてはまる語を選び、記号で答えよ。

- ア. 下人・所従 イ. 惣領・庶子 ウ. 田堵・負名 エ. 無田・小作

問7 [H]にあてはまる語を選び、記号で答えよ。

- ア. 一遍上人絵伝 イ. 蒙古襲来絵巻 ウ. 源氏物語絵巻 エ. 平家納経

問8 [I]にあてはまる語を選び、記号で答えよ。

- ア. 考古学の発掘調査 イ. 吾妻鏡の解説 ウ. 石碑の調査解説 エ. 古老の言い伝え

問9 下線部Jに当てはまる語を、次の文を参考にして答えよ、ただし□には漢字1文字があてはまる。

〔日本の長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、今日まで守り伝えられた貴重な国民的財産。〕
 〔有形、無形がある。〕

問10 二重下線部について、在地の支配者としての彼らの社会的地位を何というか、漢字2文字で答えよ。

【 2 】 次の文 I・II を読んで下の問いに答えよ。(思考判断・知識理解 2点×10 計20点)

I 日本の九州、台湾、中国大陸の3者にそれぞれ約500km離れた沖縄の発展の様子をたどってみよう。当時、沖縄は琉球とよばれていた。沖縄本島では、10～12世紀になって、米・麦の農耕が本格的にはじまり、[A]とよばれる首長が各地にうまれた。[A]らは城をきずき、勢力を拡大し争ううちに、14世紀に入ると、南山・中山・北山とよばれる小国家が成立した。こうして独自の発展をとげてきた琉球が繁栄をほこれるのは、1372(応安5)年に、中山王が[B]とのあいだに外交関係を結んでからである。これをきっかけに琉球船は、日本・朝鮮・東南アジアへと出かけて特産品を買いつけ、中国との朝貢形式の貿易を展開した。

1429(永享元年)、[C]が3王国を統一した結果、内政がかたまと、琉球王国は貿易立国としていっそうの発展をめざした。その繁栄は[B]に朝貢した回数が琉球は171回におよんだのに対し、第2位の安南が89回と少ないのとくらべてみればわかる。日本の遣使の回数はわずか19回にすぎなかった。中国への朝貢貿易で手に入れた中国製品をもとで、それらを東アジア・東南アジアの諸地域の特産品と交換する[D]貿易で多くの利益をあげた。

琉球王国の最盛期は16世紀前半であった。その後、[E]が、東アジアへも足をのぼした結果、琉球王国の[D]貿易の役割は減退していった。やがて豊臣秀吉や薩摩の島津氏が服属を求めたため動揺ははじまり、1609(慶長14)年に薩摩藩に征服され、王国の体制のまま日本に服属することになった。

問1 [A]に当てはまる語を選び、記号で答えよ。

- ア. 按司 イ. 守護 ウ. 国司 エ. 県令

問2 [B]に当てはまる語句を選び、記号で答えよ。

- ア. 唐 イ. 宋 ウ. 元 エ. 明

問3 [C]に当てはまる語を選び、記号で答えよ。

- ア. 南山国王陳和卿 イ. 中山国王尚巴志 ウ. 南山国王尚巴志 エ. 中山国王陳和卿

問4 [D]に当てはまる語句を選び、記号で答えよ。

- ア. 中継 イ. 加工 ウ. 自由 エ. 保護

問5 [E]に当てはまる語句を選び、記号で答えよ。

- ア. イギリス・オランダ イ. スペイン・オランダ
ウ. ポルトガル・スペイン エ. ポルトガル・イギリス

問6 下線部分朝貢形式について、**あてはまらないもの**を選び、記号で答えよ。

- ア. 卑弥呼が魏に使者を送った イ. 倭の五王が中国に使者を送った。
ウ. 小野妹子を遣隋使として派遣した エ. 足利義満が勘合貿易をおこなった。

II 和人とよばれる本州人が、蝦夷ヶ島とよばれた北海道の南部へ進出しはじめたのは、13世紀ころであった。鉄製の武器を持ち、武力に優越する和人は F。15世紀には津軽の豪族安藤(東)氏の武将で、蝦夷地の西南端にいた[G]氏が、1457(長禄元)年に、アイヌの首長[H]の蜂起をしずめたのをきっかけに、勢力をのぼした。17世紀初め、[G]氏は、徳川家康から蝦夷地の支配権を認められ、[I]氏と改称した。

問7 Fにあてはまる文を選び、記号で答えよ。

- ア. アイヌと共存共栄の道を探った
 イ. しだいに力を強め、アイヌを圧迫していった
 ウ. アイヌと対立したが、戦いに敗れた
 エ. しだいに力を強め、アイヌを追い出した

問8 [G]にあてはまる語句を選び、記号で答えよ。

- ア. 藤原 イ. 伊達 ウ. 北条 エ. 蠣崎

問9 [H]にあてはまる語句を選び、記号で答えよ。

- ア. コシャマイン イ. 阿弭流為 ウ. シャクシャイン エ. 清原清衡

問10 [I]にあてはまる語句を選び、記号で答えよ。

- ア. 上杉 イ. 松前 ウ. 水野 エ. 毛利

解答

- 【1】** 問1 イ 問2 エ 問3 ウ 問4 ア 問5 オ
 問6 ア 問7 ア 問8 ア 問9 文化財 問10 地頭
 配点 2点×10問 =20点
- 【2】** 問1 ア 問2 エ 問3 イ 問4 ア 問5 ウ
 問6 ウ 問7 イ 問8 エ 問9 ア 問10 イ
 2点×10問 =20点